

杉野久男

十姉妹

杉野久男

十姉妹

33-147-6 C0095 P1600E

124 定価1,600円(本体1,553円)

十姉妹

杉野久男

日本随筆家協会

作者紹介

杉野久男（すぎの ひさお）

1926年 愛媛県東予市に生まれる

1960年 日本大学国文科卒

1991年 『十姉妹』で第24回「日本随筆家協会賞」を受賞

日本随筆家協会会員

現住所 愛媛県東予市桑村373-2

十姉妹

一九九二年九月二六日 印刷
一九九二年十月五日 発行

定価 一、六〇〇円

（本体一、五五三元）

著者 杉野久男
発行者 原島史郎
発行所 日本随筆家協会

東京都中央区銀座三一九一八東銀座ビル
電話 〇三―三五四三―三〇九一
FAX 〇三―三五四三―三〇九二
振替 東京七―六一一六五
印刷・製本 塚原印刷所

© Hisao Sugino 1992 Printed in Japan

落丁・乱丁本は当協会またはお買い求めの書店にてお取り替えいたします。

I S B N 4-88933-147-6 C0095

(★の定価は消費税抜きです)

一人称で 安部隆宏

シニカルな文体と感受性豊かな鋭いテーマで自己の内面を促えた作者の第一随筆集ノ佳品の三十八本を収録ノ 一四〇〇円

詩集鼻 唄 高木 護

前著『天に近い一本の木』に次いで放つ高木文学ノとぼけた味の底に横たわるベシミズムが、いちだんとびえるノ ★一五〇〇円

歌 ありて 清水基吉

芥川賞受賞作家である著者が生きてきた昭和の時代を、そのおりおりの流行歌をまじえて描く好エッセイ集ノ ★一八〇〇円

現代^{名作}随筆百人撰 限定八八八部

漱石、鷗外から現代までの作家、随筆家百人の代表作を集めた豪華限定本ノ番号入り、二重箱入りの永久保存版ノ ★二五〇〇円

倉光俊夫自撰随筆集

『連絡員』で芥川賞を受賞した著者の洗練された文章、感銘深い作品を網羅した随筆集ノ名作の数々を収録ノ ★一八〇〇円

生田直親自撰随筆集

推理小説や社会小説で独自の世界を構築した著者の、おもしろくて、やがて哀しい話を満載した傑作自撰随筆集ノ ★一六〇〇円

十
姊
妹
—
目
次

犬
⋮
16

犬
⋮
16

山鳩……………20

鼠
⋮
24

も
す
……
28

[illegible]

蟬
.....
36

魚里
.....
40

こおろぎ……………44

冬の蟻……………48

十姊妹……………52

汗
.....
58

汗
.....
58

羊齒……………	62
南天……………	66
柚子……………	70
散髪……………	74
啓蟄……………	78
木の芽立ち……………	82
そら豆……………	86
くちなし……………	90
簾戸……………	94
肌荒れ……………	98
杖……………	102
屋根の上から……………	106
田舎……………	110
簾越し……………	114

泣きぼくろ	泣きぼくろ	秋色	追懷	星月夜	寒中	愁眠	行きずり	夏の日	小景	憂	御神灯	振り子時計
.....												
120	124	128	132	136	140	144	148	152	156	162		

御神灯	218
甲羅	214
風邪	210
火祭り	206
芋	202
友物語	198
遊び	194
諍い	190
サイレン	186
炬燵	182
餅を搗く	178
芝居小屋	174
郵便さん	170
火の用心	166

十
姉
妹

十 姊 妹

犬

友人から、生まれて間のない小犬を貰ったのは、もう、一二十年も前のことになる。「一匹いらぬか」と言われて、「そうだな」と軽い返事をしただけの、いい加減な動機からであつた。

そのころ、二人の息子は小学校一年生と保育園児であつたが、思いもかけない小犬の土産に、目を丸くして喜んだ。そして、茶色の毛が少し交じっているものの全体的に白っぽい感じだったので、シロと名づけてかわいがつた。

ところが、このシロ、貰つて来た当初こそ息子たちのよい遊び相手になつていたのだが、大きくなるにつれて、だんだんと駄犬ぶりを発揮しはじめた。二人がかりで、「お手」「おあずけ」などとしつけようとするのだが、いっこうに指示に従おうとしない。そればかり